

Makita

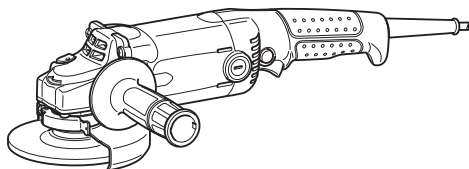
ヒューマンハードウェアのマキタ

人の暮らしとすまいのために……

取扱説明書

ディスクグラインダ

- 125mmモデル GA5010
- 150mmモデル GA6010



二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要はありません。

マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびはディスクグラインダをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	4
・ ディスクグライнда安全上のご注意	7
・ 各部の名称および標準付属品	9
・ 別販売品のご紹介	10
・ お使いになる前の準備	11
・ ホイールカバーの取り付け・取りはずし方	11
・ グリップの取り付け方	12
・ シャフトロックの操作	12
・ 研削砥石の取り付け・取りはずし方	13
・ 取り付け方	13
・ 取りはずし方	13
・ 使い方	14
・ スイッチの操作	14
・ 研削方法	15
・ 別販売品の使い方	16
・ ダイヤモンドホイールの取り付け・取りはずし方	16
・ 切断方法	17
・ ディスクサンダとして使用する場合	18
・ サンディングディスクの取り付け・取りはずし方	18
・ 研削方法	18
・ カップワイヤブラシの取り付け・取りはずし方	19
・ 保守・点検について	20
・ カーボンブラシの点検および交換	20
・ カーボンブラシの点検	20
・ カーボンブラシの交換	21
・ 本機のお手入れ	21
・ ご修理の際は	21

主要機能

主要機能	モデル	GA5010	GA6010
電動機		直巻整流子電動機	
電圧		単相交流 100V	
電流		11A	
周波数		50-60Hz	
消費電力		1,050W	
回転数		10,000min ⁻¹ (回転 / 分)	9,000min ⁻¹ (回転 / 分)
砥石寸法		外径 125mm × 厚さ 6mm × 内径 22mm (取り付け可能砥石厚さ 3 ~ 6mm)	外径 150mm × 厚さ 6mm × 内径 22mm (取り付け可能砥石厚さ 3 ~ 6mm)
本機寸法		長さ 356mm × 幅 139mm × 高さ 113mm	長さ 356mm × 幅 169mm × 高さ 114mm
質量		2.5kg	2.6kg

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の **⚠ 警告** ・ **⚠ 注意** ・ **注** の意味について

ご使用上の注意事項は **⚠ 警告** と **⚠ 注意** ・ **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠ 警告

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠ 注意

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお **⚠ 注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

: 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なお注意。

安全上のご注意

JPA001-18

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

⚠ 警告

安全作業のために：

ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・ 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
4. 子供を近づけないでください。
 - ・ 作業以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
6. 無理して使用しないでください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
 - ・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

⚠ 警告

10. 防音用保護具を着用してください。
 - ・ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音用保護具を着用してください。
11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。
12. コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
 - ・ コードを熱、油、角のある所に近付けないでください。
13. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。（材料を動かして加工する製品を除く。）
14. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 使用しない、または修理する場合。
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - ・ その他危険が予想される場合。
17. 調節キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
18. 不意な始動は避けてください。
 - ・ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
20. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れている場合は、使用しないでください。

⚠ 警告

21. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・ 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。

<異常・故障例>

- ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・ 電源コードに深いキズや変形がある。
- ・ コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・ 焦げくさい臭いがする。・ピリピリと電気を感じる。
- ・ スイッチを入れても動かない等

すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店へ点検、修理をお申し付けください。

22. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のもを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

23. 電動工具の修理は、専門店にお申し付けください。

- ・ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

ディスクグラインダ安全上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ディスクグラインダとして、さらに次の注意事項を守ってください。

JPB005-10

⚠ 警告

1. 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。
2. ホイールカバーを取り付けて使用してください。
3. 使用するオフセット砥石は、最高使用周速度 72m/s (4,300m/min) 以上の正規の砥石を取り付け、正しい使用面（外周下面）で研削してください。側面や上面では研削しないでください。
4. 砥石にひび、割れがないことを確認してから使用してください。
5. 使用中は、本機を確実に保持してください。
6. 水、研削液などは使用しないでください。
7. 上向き（定置形）にして使用しないでください。
8. 切断砥石以外の砥石での切断作業はしないでください。
9. 使用中は、工具類（砥石など）や切り屑などに手や顔などを近づけないでください。
10. 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
11. 切断砥石を用いて切断作業をする場合は、切断砥石専用のホイールカバー、およびフランジを取り付けて使用してください。
12. 本機を作動させたまま床などに放置しないでください。
13. 誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類（砥石など）や本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
14. [事業者の方へ] 砥石の取替え・試運転は、法・規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。
15. 研削粉は火花となって飛散するので、引火しやすいもの、傷付きやすいものは安全な場所に遠ざけてください。また、研削火花を直接手足などに当てないようにしてください。
16. ジグザグ切断、曲面切り、（ガイドを使わない）斜め切り、コジリ、側面使用は絶対にしないでください。
17. 本機ではカップ砥石を使用しないでください。けがや事故の原因になります。

⚠ 注意

1. 工具類（砥石など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
2. 新しい砥石を取り付け、初めてスイッチを入れるときは、回転面から一時身体を避けてください。
3. 用途以外の刃物（丸のこ刃、チップソーなど）は使用しないでください。
4. 工具類（砥石など）でコードを切断しないように注意してください。万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
5. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。また、コードを引っ張られたり、引っかけたりしないようにしてください。
6. 試運転を励行してください。

注

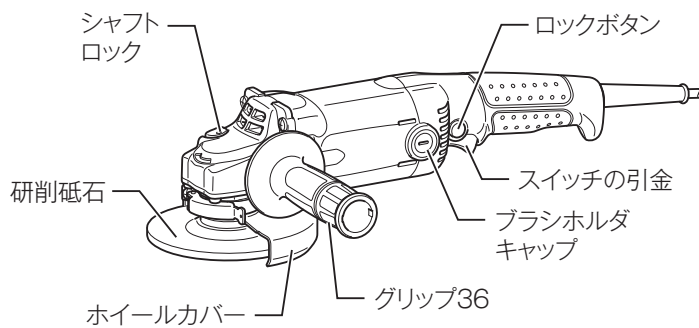
- 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本機を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できる延長コードの太さ（公称断面積）と最大長さの目安

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～ 5A	5 ～ 10A	10 ～ 15A
2.0mm ²	50m	30m	20m

- 延長コードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

各部の名称および標準付属品

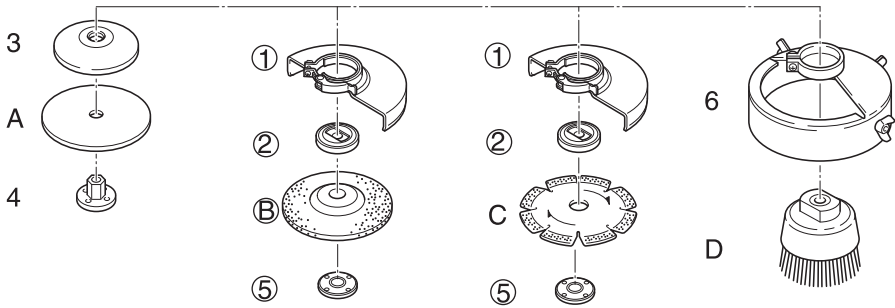


標準付属品

- ・ 研削砥石
- ・ ロックナットレンチ35
- ・ グリップ36

別販売品のご紹介

別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店もしくは、当社営業所へお問い合わせください。



- ① ホイールカバー 部品番号 135120-2(GA5010)、135121-0(GA6010)
- ② スーパーフランジ 部品番号 192431-8
- 3. ラバーパッド 部品番号 743015-1 (GA5010)、部品番号 743016-9 (GA6010)
- 4. ロックナット (サンディングディスク専用) 部品番号 224523-6
- ⑤ ロックナット 部品番号 224546-4
- 6. カップワイヤブラシ用ホイールカバー 部品番号 193066-8
- A. サンディングディスク
- ⓑ 研削砥石
- C. ダイヤモンドホイール
- D. カップワイヤブラシ

※ A～Dの商品についての詳細はカタログを参照してください。

①、②、⑤、ⓑは本機の構成部品および標準付属品です。

- ・ セフティゴーグル (保護メガネ)
部品番号 191686-2

お使いになる前の準備

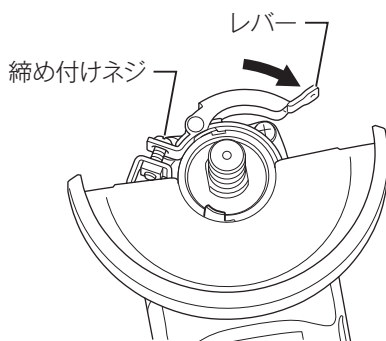
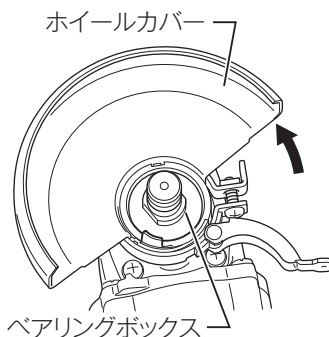
ホイールカバーの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

ホイールカバーの取り付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと事故の原因になります。

- ・ 締め付けネジをゆるめ、レバーを開きます。
- ・ ホイールカバーの凸部とベアリングボックスの凹部を合わせ、ホイールカバーをベアリングボックスにはめ込んでください。
- ・ ホイールカバーを矢印の方向に図の位置まで回します。
- ・ レバーを閉じて、ネジを締め付けて固定してください。
- ・ 作業に合わせて、レバーを開きホイールカバーの位置を調整し、レバーを閉じることでホイールカバーの位置が調整可能です。
- ・ 取りはずす場合は、取り付け方の逆の要領で行ってください。



お使いになる前の準備

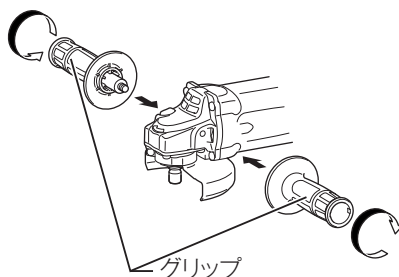
グリップの取り付け方

⚠ 警告

グリップの取り付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

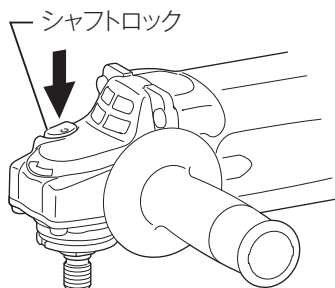
- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと事故の原因になります。

- ・ グリップは必ず取り付けて、両手で確実に保持して作業してください。
- ・ グリップは本機の2箇所に取り付けが可能です。
作業にあった位置にしっかりと取り付けてご使用ください。



シャフトロックの操作

- ・ 付属品の取り付け・取りはずしに使用します。シャフトロックを押し込み、シャフトの回り止めをしてください。



注

- ・ 回転させたままシャフトロックを押さえないでください。
故障の原因になります。

お使いになる前の準備

研削砥石の取り付け・取りはずし方

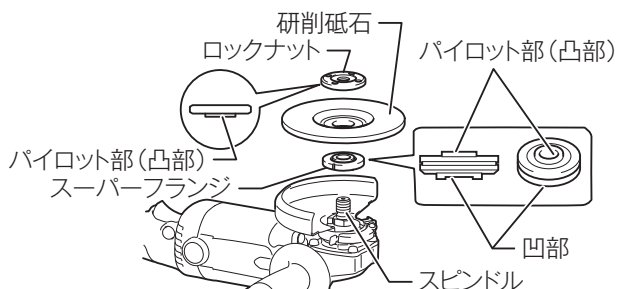
⚠ 警告

研削砥石の取り付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと事故の原因になります。

取り付け方

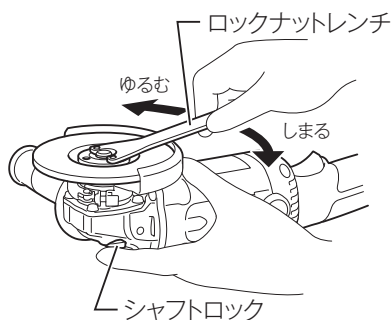
- ・ スーパーフランジをスピンドルに取り付け、その上に研削砥石をのせる。
- ・ スピンドルを上に向け、スーパーフランジの凹部をスピンドルの切欠部に合わせて、はめ込んでください。
- ・ 研削砥石の凹部を上にして、内径をスーパーフランジのパイロット部にはめ込んでください。



- ・ シャフトロックを押さえながら、ロックナットをロックナットレンチでしっかりと締め付けてください。

注

- ・ 厚さ 4mm 未満の砥石の場合は、ロックナットのパイロット部 (凸部) を上にして取り付けてください。
- ・ 厚さ 4mm 以上の砥石の場合は、ロックナットのパイロット部 (凸部) を下にして取り付けてください。



取りはずし方

- ・ 取りはずす場合は、取り付け方の逆の要領で行ってください。

使い方

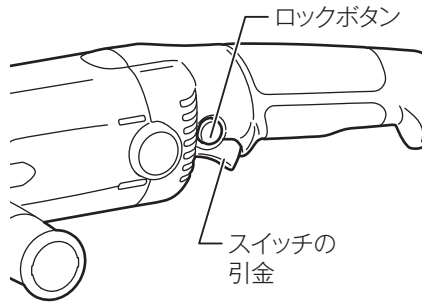
スイッチの操作

⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に動きだし事故の原因になります。

- ・ スイッチは引金を引くと入り、離すと切れます。スイッチの引金をいっぱい引いてからロックボタンを押し込むと、引金を離しても引金が固定され連続運転します。停止させるには、もう一度引金を引いてロックボタンが戻ってから引金を離してください。



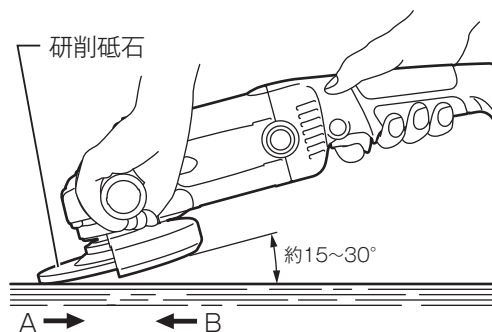
使い方

研削方法

⚠ 注意

使用後はスイッチを切って、研削砥石の回転が完全に止まってから本機を置いてください。

- ・ 回転が止まらないうちに置くことは危険です。また、切粉やごみの多い場所に置くと、切粉やごみを吸い込むことがあるのでご注意ください。
- ・ 本機回転部分が加工材等に当たらない位置でスイッチを入れ、回転が完全に上昇したことを確認して作業を開始してください。
- ・ 研削砥石は加工材に強く押し付けしないでください。研削砥石は約 15° ～ 30° 傾けて、外周下面で研削するようにご使用ください。
- ・ 新しい研削砥石は、後（A方向）に引いて使用してください。前（B方向）に押しますと加工材に食い込むことがあります。研削砥石の角がとれましたら、どちらの方向にも進めることができます。



別販売品の使い方

ダイヤモンドホイールの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

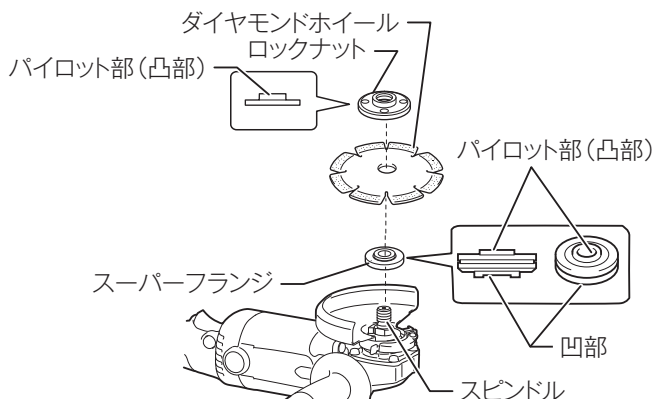
取り付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと事故の原因になります。

ダイヤモンドホイールを取り付けるときは、本機についている矢印とダイヤモンドホイールについている矢印の方向を合わせてください。

- ・ 矢印に合わせないと、ダイヤモンドホイールの回転方向が逆となり、刃先を傷めたり、けがの原因になります。

- ・ スピンドルを上に向け、スーパーフランジの凹部をスピンドルの切欠部に合わせて、はめ込んでください。
- ・ ダイヤモンドホイールをスーパーフランジのパイロット部にはめ込んでください。



注

- ・ 厚さ 4mm 未満のダイヤモンドホイールの場合、ロックナットのパイロット部(凸部)を上にして取り付けてください。
- ・ 厚さ 4mm 以上のダイヤモンドホイールの場合、ロックナットのパイロット部(凸部)を下にして取り付けてください。
- ・ シャフトロックを押さえながら、ロックナットをロックナットレンチでしっかり締め付けてください。
- ・ 取りはずす場合は、取り付け方の逆の要領で行ってください。

別販売品の使い方

切断方法

⚠ 警告

切断中に本機をこじたり強く押し過ぎたりしないでください。

- ・ モータに無理がかかるばかりでなく強い反発力を生じ、けがの原因になります。

⚠ 注意

使用後はスイッチを切って、ダイヤモンドホイールの回転が完全に止まってから本機を置いてください。

- ・ 回転が止まらないうちに置くことは危険です。また、切粉やごみの多い場所に置くと、切粉やごみを吸い込むことがあるのでご注意ください。
- ・ ダイヤモンドホイールが材料に触れない位置でスイッチを入れてください。本機をしっかり保持し、ダイヤモンドホイールの回転が上昇し安定したら、ゆっくり前方へ進め、切り終わるまでこの状態を保ってください。

別販売品の使い方

ディスクサンダとして使用する場合

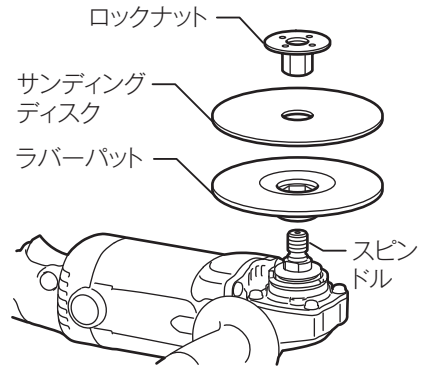
⚠ 警告

サンディングディスクなどの先端工具の取り付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと事故の原因になります。

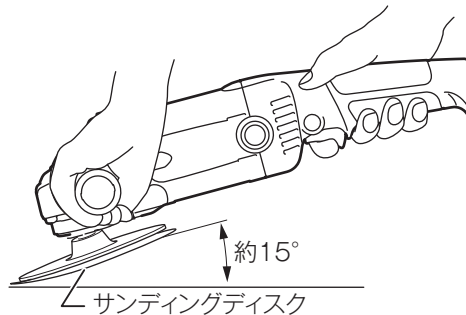
サンディングディスクの取り付け・取りはずし方

- ・ スピンドルに、ラバーパット→サンディングディスク→ロックナットの順に取り付けてください。
- ・ 取りはずすときは、取り付け方の逆の要領で行ってください。



研削方法

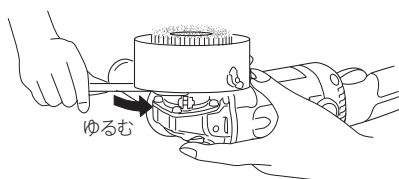
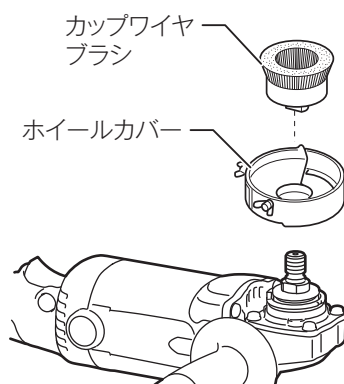
- ・ サンディングディスクは全面を材料に当てないで約15°傾けた状態でご使用ください。



別販売品の使い方

カップワイヤブラシの取り付け・取りはずし方

- ・ ワイヤブラシは、専用のホイールカバーに取り替えてご使用ください。
- ・ 専用のホイールカバーを取り付けて、シャフトロックを押さえながらスピンドルにワイヤブラシをねじ込んでください。
- ・ 取りはずすときは、シャフトロックを押さえ、22mmの片口または両口スパナをワイヤブラシの切り欠き部にはめてゆるめてください。

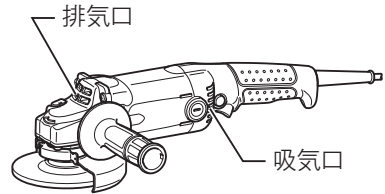


⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

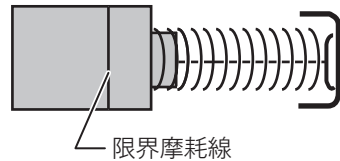
- ・ 本機及び本機の排気口、吸気口にゴミなど付着している場合は掃除してください。



カーボンブラシの点検および交換

カーボンブラシの点検

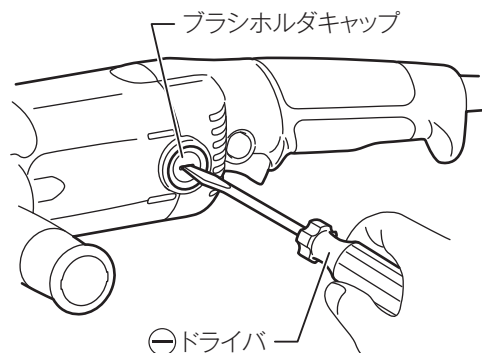
- ・ カーボンブラシは定期的に取りはずして点検してください。
- ・ カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。
- ・ 新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。



保守・点検について

カーボンブラシの交換

- ・ ⊖ドライバでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
- ・ 中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。
- ・ カーボンブラシは2個で1組になっております。取り替えるときは、必ず両側とも同時に行ってください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。



本機のお手入れ

- ・ 乾いた布か石けん水を付けた布できれいに拭いてください。

注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコール等は変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。

882703-6
NNP

株式会社 マキウ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)